



ガンバルマンニュース

発行人：笠間しげじ 〒252-1123 綾瀬市早川 3211 TEL:70-2339 FAX:78-2348 E-mail:kasama@fine.ocn.ne.jp URL:http://www16.ocn.ne.jp/~kshigeji/ (討議資料)

綾瀬市 安全・安心・豊かなまちづくり構想

～綾瀬市の未来図を描く～

綾瀬市は戦後より鉄道駅も無く、市街地も形成されていない大変のどかな街で、公共交通機関は路線バスのみ、市民の主な交通手段は徒歩か自家用車を中心でした。

産業といえば農畜産業が中心でしたが、高度経済成長期を迎え、近隣の座間市や藤沢市に大手自動車会社が進出。それに伴い、自動車関連産業への貸工場需要が増大し、農地の工場や住宅地への転用が続きました。さらには、民間企業による近隣駅周辺からの住宅地開発が進み、首都圏通勤者や自動車関連産業従業員のベッドタウンとして、流入人口が急増しました。このように民間主導で開発が進み、綾瀬市は農畜産業都市から工業都市に急激に変貌してまいりました。しかし急激な変化により産業基盤整備も間に合わず、その整備が課題となっております。

民間主導の開発では駅までの交通利便性が優先され、駅周辺から宅地開発が進みました。結果として綾瀬市の周辺部が開発され、市の中心は未開発のままという「ドーナツ現象」が起きてしまいました。

そこで、バランスと均衡あるまちづくりのため、市行政が主導し中心市街地の計画的開発が区画整理事業手法で現在も行われております。

私は今後の綾瀬市のまちづくりは、更なる行政主導が求められると考えています。

単に許認可権を行使するだけではなく、都市ビジョンを作成し、都市基盤整備を社会投資財源によって整備することで、民間の力を活用していくときであります。

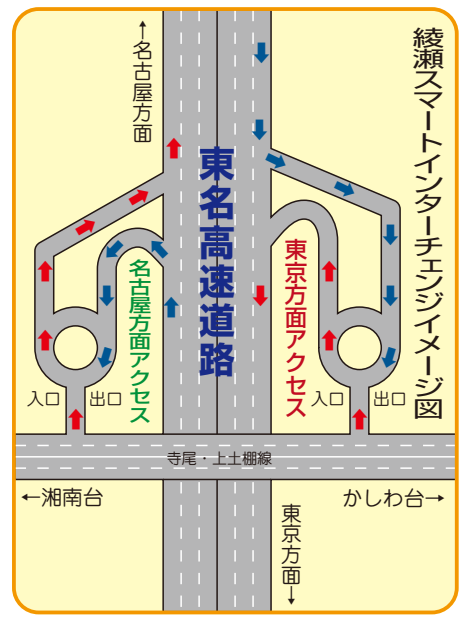
そこで私は都市基盤整備の最重要課題は道路網の整備であると考え、幹線道路、特に県道の整備に力を入れてまいりました。ここで都市ビジョンがどのような道路を求めているかであります。広域交流道路、通過道路、生活道路等、市民生活の必要に応じて各種の道路があります。中でも寺尾・上土棚線(現市役所前4車線道路)の整備は綾瀬の中心にあたる広域道路であり、その整備は長年の課題でした。しかし優先順位は低く、藤沢市内は整備されましたが、綾瀬市内は市役所移転により市役所周辺が整備されたのみで、他は部分的にしか着手されず、整備は長期戦となっていました。

そこで私は平成7年、綾瀬市に新幹線新駅誘致の運動を展開し、この路線の広域幹線道路としての優先度を高め、またこの運動は藤沢市も参画し結果、藤沢市側の道路整備の推進力も高まりました。

次に平成12年、綾瀬市を通過する東名高速道路に綾瀬インターチェンジを新設する為、当時創設された「地域活性化インターチェンジ制度」を活用し7市1町の運動として誘致運動を展開しました。結果、知事の推進決定に伴い道路整備が急速に進み、寺尾・上土棚線は藤沢から県道(旧246)まで4車線供用することができました。

そして現在、県のインターチェンジ新設の都市計画決定を目前に県道(旧246)から相模原までの整備に向けて検討が始まっております。

裏面へ続く



綾瀬市は今後もバランスの取れた都市計画づくりと都市基盤整備の一体的推進による産業振興が急務ですが、私が考える産業振興策は商工業と農畜産業が連携を図る事業展開を推進することです。現在工業系は組織化された工業会・工業協同組合が五団体（綾瀬工業団地協同組合・早川工業団地協同組合・さがみ野工業団地協同組合・吉岡工業会・綾南工業会）ありますが、今後の更なる産業振興に向け、綾瀬インターチェンジ新設による活性化策として、落合地区と吉岡地区の工業土地利用への線引き変更手続きが進んでおります。商業系では市役所周辺に中心市街地化（タウンセンター）構想で、綾瀬タウンヒルズを中心に外食産業の集積が進み、寺尾地区にはダイエーや綾北商店会など、上土棚地区ではマルエツ・いなげやを中心に商業集積されています。農業は農業専用用地が市役所周辺に集中しておりますので、都市農業の拠点として、生産から加工し

販売までを農用地を活用して行い農業収益の向上を図ることが求められております。その他、市内農用地は大型直売場での販売を目的に消費者の需要に対応する多品種で、鮮度やおいしさを優先する生産者ブランドを推進し、農業収益向上を図ります。

更に市内産業発展を図るために、これまでの産業資源を観光資源として活用する農商工連携振興が大変重要であると考えています。

例えば市役所周辺の都市農業拠点地域で計画生産による産地化を勧め、耕土の健全化の為に休耕する土地を、インターチェンジが持つ集客力活用し、観光用に体験収穫ツアーを企画して集客を図り、また大型直売場の集客に繋げ、計画的な土地利用と産業振興による雇用増加と就労確保を目指します。観光客増加や、雇用増加により、綾瀬市の産業が活性化すれば、更に新産業を創造する起業家が生まれる環境も整備され、豊かなまちづくりが更なる夢と希望と活力を生み出すきっかけとなるでしょう。

皆さん、「ドクターイエロー」をご存知ですか？



実は写真にあるとおり、黄色い新幹線です。

正式名称を「新幹線電気軌道総合試験車」。

この車両は新幹線が安全に運行できるように、線路のゆがみ具合や架線の状態、電気設備や信号設備を検査する車両です。一般乗客が間違えて乗らないように、黄色い車両となっています。

右の写真は吉岡にある「みはらし場」から撮影したものです。ここからだ新幹線の全景が見事に撮影できます。以前は発表されていたドクターイエローの運行表は、今ではテロ対策により、発表されていません。残念…

運のよい方は見れるかもね？！

※みはらし場は綾瀬市吉岡の用田橋の北、目久尻川沿いの高台です。

写真提供 加藤武夫様



皆様からのご意見・課題などを
ご提案ください！！

ファックスをご利用の方は、78-2348まで。インターネットをご利用の方は、笠間しげじ公式ホームページ <http://www16.ocn.ne.jp/~kshigeji/> 内「しげじ日記」からどうぞ。

笠間しげじ

検索